



令和2年度学校だより

甲府市立南西中学校

銀 杏 (いちょう) 第8号

学校教育目標 「たくましい心と体を持ち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石井 敬

“子どもたちと向き合う時間・かかわる時間”をさらに確保するために…

ここ数年、学校現場の忙しさがクローズアップされるようになり、私たち教師の働き方を改めて見直したり、多忙化の一因と考えられる諸課題の解決・解消に向けて対策を講じたりすることが求められています。本校でも、前年度までの達成状況を踏まえて、今年度取り組むべき『多忙化改善計画』を年度はじめにつくりました。以下がその一部となります。保護者の皆様、また地域の皆様にもご理解とご協力をいただき、その実現に努めていきたいと思っております。



多忙化改善の最たる目的は、私たちが生徒一人一人とかかわる時間を確保し、生徒理解を一層深める中できめ細やかな指導と支援につなげたり、教育活動をより充実させたりすることにあります。授業をはじめ学校行事や生徒会・学年・学級の諸活動、部活動、清掃に給食、さらには休み時間まで、一日の学校生活すべてにおいて子どもたちと“かかわっている”私たちですが、もう少し時間があればさらに深められたりより良いものにできたりするのに・・・と思うことがしばしばあります。また、何かに追われる時間ではなく、それぞれの教師の裁量によって自由に使える時間が勤務時間内に生み出せることで、その時間を明日の授業の準備に使うこともできれば子どもたちとの他愛のないおしゃべりを楽しむことに使うこともできます。多忙化改善・解消への取り組みを通して生み出した時間を子どもたちのために上手に使いたいと考えています。

1 会議等の効率化

- 職員会議では要点を絞って提案し、論点を明確にした議論により時間短縮を図る。
- 連絡事項等は校内のインターネット掲示板を活用し、打ち合わせや連絡のために職員の放課後時間を拘束することを極力減らす。

2 学校行事の負担軽減

- 今回のコロナを機に改めて諸行事を見直し、本来の目的は失わずに簡素化、縮小できるものを洗い出す。
- P T A会費の有効な用途を探りながら、無理、無駄のないP T A活動を推進する。

3 業務の効率化

- 校務支援システムを活用して分掌内容をデータ化するとともに、変更点や課題等は今年度のうちに整理、修正しておき、引き継ぎを確実に進行。

4 部活動の負担軽減

- 「きずなの日」を月2回設定し、その日はすべての部活動を部休日とする。
- 可能な限り複数顧問制とし、顧問どうして連携をとりながら部活動の運営を行う。

5 地域人材の活用

- 「南西中学校区青少年健全育成を願う会」を生かして地域の各団体と接点を持ち、地域清掃や声かけあいさつ運動などを通して学校を支援・応援していただく。

腕を磨いています！

先日、白須先生と堀内先生の授業を見せていただく機会がありました。教職に就いて3年目までの先生方を対象にした“若手教員グローアップ事業”の一環でその日は授業研修があり、講師の先生から指導助言をいただくのに乗じて、私もお二人の授業を参観しました。

私は、一日に何回か校内を歩き回るようにしています。私の運動不足解消(?)と授業中の子どもたちの様子を眺めるためです。と言っても、授業の邪魔になってはいけないので廊下からそ〜っと覗かせてもらうようにしています(まるで星飛雄馬の姉ちゃんのように)。ですから、今回のように丸々50分間授業を見るのは南西中に来て初めてでした。

白須先生の授業は、カレンダーの、横に並んだ3つの数字を囲み、それらの数の和にどんな性質があるかに気づかせることから導入し、「3つの続いた整数の和が、まん中の数を3倍にした数になる」ことを文字式を利用して説明するというものでした。自分の考えを友だちに伝える場面を何回か取り入れながら課題の解決に向かい、子どもたちも興味をもって楽しそうに取り組んでいました。

一方、堀内先生は、色々な種類の植物の葉、茎、根の写真がプリントされたカードを用意し、それぞれの特徴をもとに分類していく授業を行いました。普段は何気なく眺めている植物でもじっくり観察してみると同じような特徴があったり、全く異なる様子が見られたりと、課題に一生懸命取り組む子どもたちの表情がとても印象的でした。発言も活発に行われていました。

授業後は、講師の先生と反省会。白須、堀内両先生に比べればはるかに授業経験が豊富な講師の先生ですので、指導案にびっしりと書き込んだメモをもとにアドバイスをされていました。中には手厳しい指摘もありましたが、それにも熱心に耳を傾け、時に自分の思いや考えを伝えながら授業の振り返りを行っていました。帰り際、講師の先生が「少し厳しいことを言ったけど、やっぱりいい先生になってほしいからね。二人なら大丈夫と思うよ。10月にまた来るのが楽しみになってきた。」と言いき残していきました。私も同じ思いで講師の先生を見送りました。



今こそ、自分たちで**考**えて**動**くとき!!



学校が再開となって早くも1ヶ月が経過しました。心配や不安は常につきまとうものの、ここまで何事もなく徐々に日常を取り戻していることに胸をなでおろしています。19日からは県をまたいでの行き来も可能となり、おそらく生徒の皆さんの行動範囲もさらに広まっていくことでしょう。しかし、人の行き来が盛んになるのに伴って、今は落ち着いている感がある状況からまたどんな変化が現れてくるのかはしっかり見ていかなければなりませんし、それに見合った行動が求められることにもなります。

先日の新聞によると、緊急事態宣言解除後の1ヶ月間の感染者数は東京が最も多く、福岡、北海道、神奈川、埼玉、大阪、千葉、愛知がそれに続いていました。山梨はというと、それら大都市に次ぐ感染者数となっておりちょっと驚きでした。

このような状況を見るとまだまだ安心は禁物ですし、むしろもう一度気を引き締めていかなければならないと考えます。こまめな手洗い、マスクの着用、ソーシャル・ディスタンスの確保と、私たちにできることはこれまでと変わりはありません。学校では物理的に難しいものもありますが、それでも**常に最善を考**えて行動できれば感染予防は可能です。今こそ、**考**動を!!



